



基調講演 題目

「訪問型」病児・病後児保育と
全国のファミリー・サポート・センターの
取組について

小林 恭子氏

講師
プロフィール 小林 恭子 (こばやし やすこ)
一般財団法人 女性労働協会 第一事業部 部長

女性労働協会にて、女性活躍推進や子育て支援等を中心に幅広く支援事業に従事。2011年度よりファミリー・サポート・センターの運営支援を担当、現在に至る。全国規模でのアドバイザー向けの講習会・交流会の企画・開催、全国のセンターの活動実態調査の実施、都道府県等自治体主催のアドバイザー研修における講師等、実績多数。2014年度には、厚生労働省による「子育て支援員研修制度に関する検討会」に招集され、「地域保育コース」の研修カリキュラムを検討。現在、子育て支援員研修の講師も務める。



基調講演では、全国のファミリー・サポート・センターでの状況を 女性労働協会第一事業部小林恭子部長にご紹介いただき、訪問型の病児・病後児保育の可能性についてお話をしていただきます。病児・病後児保育を行うにあたっては、そのお子さんの健康な時の様子がわかっていて、病気になった時もそのお子さんのお世話をしたいという預かる側の気持ちを大事にすること、そして何よりも日頃から利用者と支援者の関係性がしっかり築かれていることが重要です。奈良女子大学が代表機関となって進めている病児・病後児保育システムは、そういった基盤の上に構築する取組であり、附属病院をもたない機関で病児・病後児保育のニーズに応えていく仕組みのモデルとして、今後重要な役割を担っていくことが期待されます。

附属病院をもたない
機関における
病児・病後児保育の
実現に向けて

2021.2.18

オンライン
開催

後日
オンデマンドで
配信予定

THURSDAY

13:30-16:30

ホスト：奈良女子大学

申込み方法
(事前申込が必要、参加費無料)

下記ページよりお申込みください。
メールでもお申込みいただけます。

<https://forms.gle/ZCAQ7vtdQgvTaAnu6>

●メールでの申し込み先・問い合わせ窓口
奈良女子大学ダイバーシティ推進センター
diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp

申込み締切：2月15日(月)

代表機関 奈良女子大学

共同実施機関 奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学
株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社
佐藤薬品工業株式会社

Program

司会 奈良女子大学副学長(男女共同参画担当) 安田恵子

- 13:30-13:35 開会の挨拶
奈良女子大学学長・ダイバーシティ推進センター長 今岡春樹
- 13:35-13:40 来賓挨拶
文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室
- 13:40-13:45 来賓挨拶
国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)プログラム主管 山村康子氏
- 13:45-14:35 基調講演
一般財団法人 女性労働協会 第一事業部 部長 小林恭子氏
「訪問型」病児・病後児保育と
全国のファミリー・サポート・センターの取組について
- 14:35-14:45 病児・病後児保育の実現に向けた本事業の取組概要
ダイバーシティ推進センター 特任教授 春本晃江
- 14:45-15:00 これまでの子育て支援システムの取組と実績
ダイバーシティ推進センター ネットワークコーディネーター 大塚夏子
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:25 病児・病後児保育の必要性和利用者の声
ダイバーシティ推進センター ダイバーシティコーディネーター 黒川佳子
- 15:25-16:00 「訪問型」病児・病後児保育の実施に向けて
ダイバーシティ推進センター ダイバーシティコーディネーター
上山沢子・八田智美
- 16:00-16:20 子育て支援システムの地域への普及
奈良工業高等専門学校教授・男女共同参画推進委員会委員長 松村寿枝
武庫川女子大学教授・女性研究者支援センターアドバイザー 福尾恵介
- 16:20-16:25 外部評価委員講評
- 16:25-16:30 閉会の挨拶 奈良女子大学理事・副学長 藤原素子